

光陽中学校区の小中一貫教育Leaflet

平成28年4月27日
越谷市立 明正小学校

児童生徒を取り巻く社会的な環境が大きく変化する中、小学校から中学校への移行段階で、学校生活への不適応、児童生徒の学習意欲の低下、不登校児童生徒数の増加、暴力件数の増加などの問題、いわゆる中1ギャップを含めた教育課題への対応が求められております。

越谷市教育委員会は、平成28年度越谷市教育行政重点施策において、これらの課題解決の手段の1つとして小中一貫教育を中心とする研究委嘱等の推進を施策の重点的な取り組みとして掲げ、本校は平成27年度より越谷市教育委員会から小中一貫教育の5年間の研究を進めることを委嘱されました。

本校の小中一貫教育は、現行の学習指導要領に則り、義務教育6-3制及び現在の学校の立地条件の中で、本中学校区が目指す児童生徒像、重点目標を設定、共有し、その実現を図る教育です。加えて、教員一人一人が義務教育9年間を見通した学習指導や生徒指導を系統的に行い、日々の授業の質を高めることで児童生徒の学力の向上、中1ギャップの解消、自己肯定感の高揚の実現を目指すものです。

そこで、具体的な方策等をリーフレットにまとめましたので、御一読いただき、本校の小中一貫教育に対するご理解をお願いいたします。なお、今後も様々な機会や方法で、取組や児童生徒の様子をお伝えしてまいります。

光陽中学校区は平成30年度の発表

No	中学校	小1	小2	小3	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
1	中央中	花田小	越ヶ谷小	東越谷小	発					
2	東中	城ノ上小	増林小		発					
3	西中	荻島小	宮本小				発			
4	南中	蒲生二小	蒲生南小			発				
5	北中	大袋北小	桜井南小			発				
6	富士中	南越谷小	出羽小						発	
7	北陽中	弥栄小	新方小			発				
8	栄進中	鷺後小	大沢小	北越谷小				発		
9	光陽中	川柳小	蒲生小	明正小				発		
10	平方中	平方小	桜井小				発			
11	武蔵野中	大間野小								
12	大袋中	大袋東小	大袋小					発		
13	新栄中	大沢北小					発			
14	大相模中	西方小	大相模小						発	
15	千間台中	千間台小								発

市内15の中中学校区

5年間の研究（研究発表年度は発）

光陽中学校区の具体的な取組等

1 共同研究校名

光陽中学校、蒲生小学校、川柳小学校、明正小学校

2 共同研究の主題・目指す児童生徒像

研究主題 『義務教育9年間を見通した、確かな学力の向上を目指して』

～小学校で育まれた子どものよさを中学校で更に伸ばすためにできること～

目指す児童生徒像

自分に自信を持ち、夢や希望に向かって生き生きと活動する児童・生徒

- 学習規律を身につけ、主体的に授業に臨む児童・生徒
- 家庭学習を継続して取り組むことができる児童・生徒
- 心からあいさつができる児童・生徒
- 進んで体力作りに励む児童・生徒

3 今年度の具体的な取組（学力向上部会、生活力向上部会、体力向上部会、行事交流部会）

（1）教師の視点

① 授業改善



授業研究会を通して、系統性を踏まえた授業案づくりと実践を行います。

② 学級・学年経営改善



共通の掲示物を用いて足並みをそろえた環境整備に取り組みます。

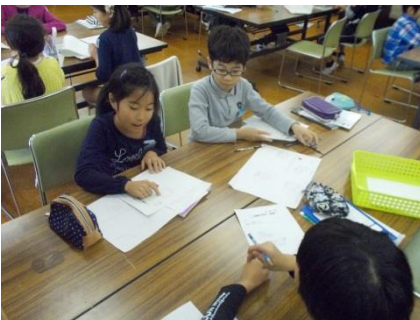
③ 積極的な生徒指導



授業や廊下などですれ違うときは教師も生徒も丁寧にあいさつをします。

（2）児童生徒の視点

④ 学力向上



ペア学習やグループ学習を通してアクティブラーニングを実施していきます。

⑤ 中1ギャップの解消



中学生から学習、委員会や部活動等学校生活の様子を聞きます。

⑥ 自己肯定感の高揚



合唱の楽しさや伝統を引き継ぎ、一人一人が誇りをもって歌います。

4 検証方法

- ・アンケートによる実態調査
- ・全国、埼玉県学力・学習状況調査及びアンケート
- ・越谷市算数・数学教育に係る効果の検証
- ・不登校児童生徒数調査
- ・新越谷市学校生活に関するアンケート